

団体名	事業名	事業内容
こまえアレルギーの会	アレルギー対応の たこ焼き開発プロジェクト！	昨年度は、食物アレルギーの理解促進の場づくりで3つの食を介した事業を開催した。多数の参加者と入会者があり目的が達成出来た。今年度は、新型コロナウイルス感染症の状況により閉ざされた環境での交流や情報共有が困難となった。そこで昨年度の経験を踏まえ、ウイルス感染リスクを考えなくて良い動画製作と配信によってアレルギー疾患者間の交流と情報発信を試みる。具体的には食物アレルギー対応のたこ焼きのレシピを開発提供し、実際に調理風景を撮影、レシピ公開とともにYouTubeにて配信する。これにより、狛江市内外のアレルギー疾患者と家族の関心を呼び寄せ、SNS上での交流をする。このことで、こまえアレルギーの会への入会者数の増加と狛江市を中心に全国の皆さんと交流を期待する。
地域のつながりと防災を考える実行委員会	講演会 「地域のつながりと防災を考える」	東日本大震災において津波により次女を失い、現在は全国で防災講演活動を行う石巻市の佐藤敏郎氏と、小金井市で保育所・認知症デイサービス・地域の寄り合い所の三つの機能をあわせ持つ福祉施設「地域の寄り合い所 また明日」を運営する森田真希氏の対談講演を開催。年齢、性別、世代、障がいのあるなしにかかわらず、一人ひとりの違いを理解し、支え合える関係性を作り、防災にどのように生かせるのかを狛江市民と共に考える機会とする。また、その結果として、高齢者、子ども、障害のある人など社会的に弱い立場にある人への理解を深め、災害に強い地域をつくる。
多摩川キャンドルナイト灯と人実行委員会	多摩川キャンドルナイト灯と人	和泉多摩川の河川敷において、毎年キャンドルを2000本以上並べる地域のための環境&アートのイベントと事業。昨年の令和元年東日本台風で荒れてしまった多摩川を再び元気に盛り上げていくために、新型コロナウイルス感染症から立ち直っていくために、希望の灯りを灯したいと考えており、秋の終わりにキャンドルを並べる。集客数は1,500名を目指し、予算30～40万円ほどの小さなイベントである。